

令和6年2月20日

行政・法人・団体・福祉関係者の皆様へ



一般社団法人 農福ガーディアン

設立のご挨拶



《 設立の目的 》

～地域の人々の健康を護る～

先祖代々この地域で暮らしてきた皆さん、そこで暮らす子供たちや若い世代の皆さん、これから生まれてくる子供たちみんなの健康をまもりたい。その為には、できる限り清浄かつ新鮮で栄養価の保たれた健全な飲食物の地産地消が重要であると考えます。その実現に向けて活動をさせて頂きたいと思えます。

ご存知の通り、日本の食料自給率は世界に恥ずべきほどの低さです。経済を回せと言われても、不健康な身体では生活自体に支障をきたします。健全な精神は健全な肉体に宿ると言われていますが、その地域の気候風土に合った飲食物を摂取することで、人間本来の心身の健康を得ることができると考えます。

～地域の自然環境を護る～

昔から受け継がれてきた郷土の自然環境や生活環境を、新たな土地開発との調和を保ちながら大切に護り続けたい。そして、100年後のこの地に生きる子孫へ繋ぐための手助けとなるような活動をさせて頂きたいと思えます。

ご存知の通り、熊野町は山に囲まれています。農地が減少するほど夏場の気温上昇や冬場の気温低下が顕著になる事が考えられます。また、風水害や土砂崩れ等の災害時には農地があることで住民への直接的な被害が緩和される事が考えられます。特に、高齢者や子供たち皆が暮らしやすい育ちやすい自然環境や生活環境をまもるよう、今を生きる人々が考えて行動する必要があります。

《 事業内容 》

農福連携事業、他分野連携事業、その他関連事業（令和5年1月設立）

《 今後の主な活動内容 》

- ◆使っていない農地や今後使われなくなる農地を、地主さんに相談のうえ再利用させていただく
- ◆農地を活用して障がい者・高齢者・ひとり親家庭の親などに農作業などの仕事の場を提供する（作物の品種・栽培工程と作業者の適性とのマッチング）
 - 土に触れることで精神の安定を促す
 - 独自の土作りや栽培方法により栄養価が高く清浄な作物をつくる
 - 地域の小規模農業の担い手候補を生み出す

《 その他の活動内容 》

- ◇地域交流（福祉事業者・熊野町・自治会・商工会等との連携及び施設外就労）
- ◇農作業体験イベント（作物の種まき・水遣り・草取り・収穫など）
- ◇食育イベント（収穫した農産物を調理して食事する／野外または屋内）
- ◇自然体験イベント（田畑や小川などでレクリエーション・野外活動）など

《 いま取り組んでいること 》

- ☆障害福祉サービス事業所（就労継続支援B型）の新規開設準備中です
（名称：すまいるガーデン筆の里／2024年春のオープン目指す）
- 障がいのある方などが昼食や休憩のできる空家物件を近所で探しています
- 最初の作業場となる畑の整備（呉地3丁目）をしています
（雨天でも作業できるようビニールハウスの設置を計画中）
- 固定品種に加えて季節ごとに栽培する作物を決めるための調査をしています
（固定品種の有力候補：丹波の黒豆）

皆様よりご意見やご指導を頂きながら、地域に役立つよう活動に励ませて頂きます。どうぞよろしくお願い致します。



農福ガーディアン 代表 伊藤 秀樹

- ・事務所 熊野町呉地2丁目-12-46
- ・お問合せ 090-2803-4858（携帯）・082-854-0456（事務所兼自宅）